平成28年 1月 1日
第 104 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 黒瀬和美
電話 972・5819

世代をつなぐ餅つき体験



ちょっと杵が重いかな

すっかり恒例となった「餅つき体験大会」12月13日に、ふれあい朝市広場で開催しました。今回は上郷小学校にもお知らせしたこともあって、森野先生も来場して下さり、児童と一緒に餅つきを楽しみました。

出来上がったお餅は、児童からいつも下校時の安全を見守って下さる「見守り隊」のメンバーにお礼として渡されました。

地元のもち米で、昔ながらのやり方の餅つきは、一般家庭では行わなくなっています。臼と杵、そしてだいがら、かまどに羽釜をかけ、もち米を蒸し上げて行くやり方、いつまでも伝えておきたいですね。



「見守り隊」の代表代理として原田孝夫さんに児童からお餅がプレゼント



餅取り粉で真っ白になりながら丸めた

平成28年　新年明けましておめでとうございます

八方原地区のみなさまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「八方原の環境を守る会」も今年で発足以来9年目を迎えました。多面的機能支払交付金制度も「法律」に規定され、山口市から直接交付される仕組みとなり活動の記録などの事務処理において一層の正確さを要求されることとなってきました。

昨年もみなさまのご支援を得て用水路の清掃、廃水の泥上げおよび老人会による市道の清掃活動、景観形成活動、農業施設の長寿命化事業などを実施することができました。

昨年、10月5日環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）の交渉の大筋合意の声明発表があり、生産農家には大きな影響があると思料します。

【この秋は　雨か嵐か知らねども今日の務めに　他の草をとるらむ】の歌の如く、先のことは判りませんが申年にふさわしく、群れで暮らす猿のように知恵を結集して、活力のある安心・安全な地区を維持できるように活動する所存でございます。特に世代を越えたシニア・ヤングパワーのご支援を切にお願いします。

終わりになりましたが、本年がみなさま方にとって実りの多き年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

八方原の環境を守る会
代表　黒瀬　和美

この通信は http://www.harataco.org/sigeki/ で読むことができます

施設の調査と点検は欠かせない


送水管の現状を確認する参加者

多面的機能と名称は変わったものの実際に行う作業はあまり変りません。施設の長寿命化の部分と、共同作業の部分です。12月6日、複数の目的の作業を実施しました。

一つは本年度から本格的に調査を始めることにした送水管の調査です。目で見ても湾曲しているように見えるこの施設、本来の形はどうであったか、資料を調査していますが、数十年前の工事のためになかなか見つかりません。しかし、八方原地域の水源として大変重要な施設なので、今後しっかりと調査に取り組みます。

また共同で農地隣接法面の除草作業も行いました。原田幸夫氏宅から北側の法面は作業担当が不明確なこともあって、ここ数年「八方原の環境を守る会」の作業になっています。

急な斜面でしかも水路に隣り合わせなので、十分な安全への配慮が必要です。水路の中から作業をしたり、しっかりと足場を固めての作業で、無事に終えることができました。参加のみなさん、お疲れ様でした。


古い石垣の部分なので隙間に草がはびこっている

万が一に備えて
八方原自治会の避難訓練

12月6日午後は地区公民館と消防組の防災訓練が行われました。万が一の事態に備えて、当たり前の作業がきちんとできるかどうかの確認です。

公民館で火事が発生、怪我人が出たという想定です。消防組は消火活動に入るとともに、公民館利用者の避難誘導、そして怪我人の担架搬送を行いました。訓練ですので、落ち着いてゆっくりとできますが、緊急事態にはなかなか簡単にはいかないかも知れません。実際に経験して、感覚をつかんでおくことが重要です。担架搬送でも、怪我人を搬送する際にどの程度の労力がいるか体験しないと分かりません。


全ての消火栓の状況を点検確認する


消火器は日頃使うものでは無いので慎重に

その後、模擬消化器を使った消火訓練を実施しましたが、分かっているようでもいざとなると手順が違ったり、ホースをセットしないまま放水レバーを握ったりしていました。

消防組は各消火栓の点検実施、水道工事で消火栓が移動していることに気がつきました。

新春の行事

1月10日　午後3時
小郡地域消防合同訓練
1月10日　午後4時
八方原自治会新年会
1月17日　午前9時
山口市駅伝競走大会
きらら博記念公園
※「チームハッポウ」出場します。